

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進事業に関する事業評価票(再評価)

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				評価機関名:九州農政局		
						目標の総蜂群数	基準年の総蜂群数 令和3年1月1日時点	目標年の総蜂群数 令和5年1月1日時点	3年目の総蜂群数 令和7年1月1日時点	達成率	具体的な取組内容	地方農政局等の評価所見
鹿児島県	県内全域	鹿児島県養蜂振興推進協議会	養蜂	令和3年度	2023年1月1日現在の飼養蜂群数が、2021年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	7,829群	7,601群	7,142群	7,154群	-196.1% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽検討会議: 14名 ・蜜源植物の植栽: 約30ha (レンゲ、ナタネ、ヘアリーベッチ、ヤブツバキ、クロガネモチ、ネズミモチ、ミモザ) 	<p>ミツバチヘギイタダニによる被害、夏場の高温の影響や高齢化等による廃業等から成果目標を達成することができなかった。</p> <p>一方で、新規参入や若手養蜂家による増群もあり、今後も県や養蜂協会を中心に経営指導等を行い安定的な養蜂経営を続けつつ、蜜源植物の定着化を図り、蜂群数の回復に努める予定である。</p> <p>このため、事業実施主体に対し、改善計画の提出を求めることとする。</p>

・成果目標に係る蜂群数は、1月1日時点の蜜蜂飼育届け提出者のうち、事業に参加している養蜂農家の飼養蜂群数。

・達成度合の算定方法は、 $[(\text{目標年の総蜂群数(実績値)} - \text{基準年の総蜂群数}) / (\text{目標の総蜂群数(目標値)} - \text{基準年の総蜂群数})] \times 100$ で算出。

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進事業に関する事業評価票(再評価)

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況					評価機関名:九州農政局	
						目標の総蜂群数	基準年の総蜂群数	目標年の総蜂群数	2年目の総蜂群数	達成率	具体的な取組内容	地方農政局等の評価所見
							令和4年1月1日時点	令和6年1月1日時点	令和7年1月1日時点			
大分県	県内全域	大分県養蜂等振興強化推進協議会	養蜂	令和4年度	2024年1月1日現在の飼養蜂群数が、2022年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	1,133群	1,100群	1,109群	1,199群	300.0%達成	・植栽検討会議の開催:2回 ・蜜源植物の植栽:14.8ha(レンゲ、モチノキ)	蜜源植物の植栽・管理が適切に行われ、飼育蜂群数は成果目標を上回ることができ、事業成果があったと考えられる。
宮崎県	県内全域	宮崎県養蜂等振興推進協議会	養蜂	令和4年度	2024年1月1日現在の飼養蜂群数が、2022年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	5,311群	5,156群	5,032群	4,838群	-205.2%未達成	・植栽検討会議の開催:2回 ・蜜源植物の植栽:3.2ha(ユリノキ、クログネモチ)	衛生管理に関する研修会や蜂群配置調整等により成果目標達成のための取組を行った。しかし、ダニによる被害、高齢化、後継者不足、大規模養蜂家の廃業から成果目標を達成することができなかった。このため、事業実施主体に対し、改善計画の提出を求めるとする。

・成果目標に係る蜂群数は、1月1日時点の蜜蜂飼育届け提出者のうち、事業に参加している養蜂農家の飼養蜂群数。

・達成度合の算定方法は、[目標年の総蜂群数(実績値)-基準年の総蜂群数]/[目標の総蜂群数(目標値)-基準年の総蜂群数]×100で算出。

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				評価機関名：九州農政局	
						目標の総蜂群数	基準年の総蜂群数	目標年の総蜂群数	達成率	具体的な取組内容	地方農政局等の評価所見
							令和5年1月1日時点	令和7年1月1日時点			
長崎県	県内全域	長崎県養蜂振興協議会	養蜂	令和5年度	2025年1月1日現在の飼養蜂群数が、2023年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	471群	457群	913群	3257.1% 達成	・植栽検討会議の開催：2回 ・蜜源植物の植栽：約0.27ha（ピワ）	計画的な事業の実施により飼育蜂群数は成果目標を上回っており、事業成果があったと考えられる。
熊本県	県内全域	熊本県養蜂等振興強化推進協議会	養蜂	令和5年度	2025年1月1日現在の飼養蜂群数が、2023年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ5%増加	7,030群	6,695群	7,142群	133.4% 達成	・植栽検討会議の開催：3回 ・蜜源植物の植栽：118.8ha（レンゲ、ナタネ、ヘアリーベッチ、クロガネモチ、サカキ、ソゴ、エゴノキ、リョウブ、ヒメシャラ）	計画的な事業の実施により飼育蜂群数は成果目標を上回っており、事業成果があったと考えられる。
熊本県	八代市域	鶴喰なの花村みつばち協議会	養蜂	令和5年度	2025年1月1日現在の飼養蜂群数が、2023年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	1,059群	1,028群	1,060群	103.2% 達成	・植栽検討会議の開催：3回 ・蜜源植物の植栽：0.46ha（なの花、レンゲ、栗）	計画的な事業の実施により飼育蜂群数は成果目標を上回っており、事業成果があったと考えられる。
大分県	県内全域	大分県養蜂等振興強化推進協議会	養蜂	令和5年度	2025年1月1日現在の飼養蜂群数が、2023年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	1,116群	1,083群	1,199群	351.5% 達成	・植栽検討会議の開催：2回 ・蜜源植物の植栽：12.6ha（レンゲ、ヘアリーベッチ、ヒマワリ、モチノキ） ・蜜源植物の植栽状況等の実態把握調査：3回	計画的な事業の実施により飼育蜂群数は成果目標を上回っており、事業成果があったと考えられる。
宮崎県	県内全域	宮崎県養蜂等振興推進協議会	養蜂	令和5年度	2025年1月1日現在の飼養蜂群数が、2023年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	4,889群	4,746群	4,838群	64.3% 未達成	・植栽検討会議の開催：2回 ・蜜源植物の植栽：3ha（ユリノキ、クロガネモチ、ヤマザクラ、ヤブツバキ、ネズミモチ）	計画的な事業の実施により蜜源植物の増殖を図り、蜂群増加のための環境整備や消費者への普及啓発が行われた。しかし、ダニによる被害、高齢化、後継者不足、大規模養蜂家の廃業から成果目標を達成することができなかった。このため、事業実施主体に対し、改善計画の提出を求めるとする。

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名：九州農政局	
					目標の総蜂群数	基準年の総蜂群数	目標年の総蜂群数	達成率	具体的な取組内容	地方農政局等の評価所見	
						令和5年1月1日時点	令和7年1月1日時点				
鹿児島県	県内全域	鹿児島県養蜂振興推進協議会	養蜂	令和5年度	2025年1月1日現在の飼養蜂群数が、2023年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	7,357群	7,142群	7,154群	5.6% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽検討会議の開催：3回 ・蜜源植物の植栽：9.6ha（レンゲ、ペルシアンクロローバ、ヤブツバキ、ヒメシャリンバイ、ビーポーリー、キンボウジュ、ミモザ） 	<p>計画的な事業の実施により蜜源植物の増殖を図り、蜂群増加のための環境整備が行われた。しかし、水稻の作付け作業との兼ね合いから蜜源としてのレンゲが定着しなかったほ場があったことや、ミツバチヘギイタダニによる被害、夏場の高温の影響や高齢化等による廃業等から成果目標を達成することができなかった。一方で、新規参入や若手養蜂家による増群もあり、今後も県や養蜂協会を中心に経営指導等を行い安定的な養蜂経営を続けつつ、蜜源植物の定着化を図り、蜂群数の回復に努める予定である。</p> <p>このため、事業実施主体に対し、改善計画の提出を求めることとする。</p>

・成果目標に係る蜂群数は、1月1日時点の蜜蜂飼育届け提出者のうち、事業に参加している養蜂農家の飼養蜂群数。

・達成度合の算定方法は、[目標年の総蜂群数(実績値)-基準年の総蜂群数]/[目標の総蜂群数(目標値)-基準年の総蜂群数] × 100で算出。